

第16回

全国高校生へ書道

S-1グランプリ

主催 安田女子大学
後援 広島県

団体

グランプリ

佐賀県立佐賀北高等学校

佐賀

準グランプリ

熊本市立必由館高等学校

熊本

明誠学院高等学校

岡山

個人
グランプリ

創作の部

大分高等学校3年

大庭

由暉さん

明誠学院高等学校3年

廣瀬

光汰さん

熊本市立必由館高等学校3年

北村

詩さん

岡山県立倉敷商業高等学校2年

岡部

唯さん

岡山県立倉敷商業高等学校2年

和田ひよりさん

佐賀県立佐賀北高等学校2年

吉本

一葉さん

熊本市立必由館高等学校3年

田中汐莉奈さん

佐賀県立佐賀北高等学校2年

中島

佳音さん

熊本市立必由館高等学校2年

今福

莉緒さん

大分高等学校3年

原

彩花さん

臨書の部

佐賀県立佐賀北高等学校2年

角田

菜緒さん

佐賀県立佐賀北高等学校2年

松雪

萌さん

佐賀県立佐賀北高等学校3年

田中

周さん

明誠学院高等学校1年

山本

雫流さん

大分高等学校2年

原田

広島県立熊野高等学校2年

田村有莉咲さん

大分高等学校3年

廣石

福岡県立大宰府高等学校2年

早川 結菜さん

明誠学院高等学校1年

山本

福岡県立大宰府高等学校1年

衛藤 結彩さん

福岡県立大宰府高等学校2年

竹内

岡山県立倉敷天城高等学校1年

小出 充隼さん

熊本市立必由館高等学校3年

織田

広島県立府中高等学校1年

向井 愛香さん

佐賀清和高等学校3年

西村

熊本県立第一高等学校2年

高永 鈴佳さん

準グランプリ

創作の部

熊本市立必由館高等学校3年

園田

佐賀県立佐賀北高等学校3年

田中 舞衣さん

熊本市立必由館高等学校3年

福田

佐賀県立佐賀北高等学校3年

八頭司美奈さん

熊本市立必由館高等学校3年

松本

佐賀県立佐賀北高等学校2年

野本 沙耶さん

熊本市立必由館高等学校3年

柳原

広島県立大門高等学校2年

坂本 光奏さん

熊本市立必由館高等学校3年

吉田愛那日さん

明誠学院高等学校1年

堀 美優さん

熊本市立必由館高等学校2年

北平

明誠学院高等学校2年

延原 令歩さん

熊本市立必由館高等学校2年

竹崎

大分高等学校2年

森元 陽莉さん

岡山県立倉敷商業高等学校2年

岡野

高知県立高知小津高等学校3年

大塚 春佳さん

福岡県立太宰府高等学校2年

江崎

広島市立沼田高等学校3年

萩野 舞翔さん

広島県立五日市高等学校2年

山田

滋賀県立石山高等学校2年

上田 梨央さん

佐賀県立佐賀北高等学校3年

池田

大阪府立夕陽丘高等学校2年

支 潤一さん

佐賀県立佐賀北高等学校2年

田中

岡山県立倉敷商業高等学校2年

辻川 美空さん

明誠学院高等学校3年

飯塚

岡山県立倉敷商業高等学校2年

西川 凛さん

大分高等学校2年

榎木

岡山県立笠岡高等学校3年

川端 郁子さん

大分高等学校3年

牧

岡山県立倉敷天城高等学校1年

岡崎 真弥さん

大分高等学校2年

小井手美里さん

岡山県立津山東高等学校1年

中田 千優さん

大分高等学校1年

高橋

明誠学院高等学校1年

谷 希乃香さん

大分高等学校2年

野田

鳥取県立鳥取東高等学校1年

廣田梅太郎さん

臨書の部

熊本市立必由館高等学校2年

上村

山口県立岩国総合高等学校1年

貞益 桃柚さん

岡山県立倉敷商業高等学校3年

松原

愛媛県立伊予高等学校2年

上村 佳穂さん

岡山県立倉敷商業高等学校1年

田中

高知県立高知小津高等学校1年

高橋 瑞奈さん

岡山県立倉敷商業高等学校1年

彩月さん

福岡県立大宰府高等学校2年

久原 美琴さん

まほろば賞

特別賞

佐賀清和高等学校3年	伊藤 玲那さん
佐賀県立佐賀北高等学校2年	牧瀬こよみさん
熊本市立必由館高等学校2年	漆野 愛さん
熊本県立第一高等学校2年	本里 心さん
大分高等学校1年	河野 風紗さん
沖縄県立那覇国際高等学校2年	湧川 ひなさん
広島大学附属高等学校2年	溝田 若葉さん
広島県立安古市高等学校3年	藤田 桃菜さん
広島県立広島皆実高等学校1年	原田 永さん
広島県立熊野高等学校2年	小鳥田有紗さん
広島県立府中高等学校2年	諏澤 美結さん
広島県立福山葦陽高等学校1年	廣津 菜花さん
広島県立五日市高等学校2年	鈴木さくらさん
広島県立廿日市高等学校1年	濱岡 媛月さん
広島県立西条農業高等学校2年	村上麻衣子さん
広島県立吉田高等学校3年	片山 望明さん
広島県立呉三津田高等学校1年	中岡 璃子さん
広島県立祇園北高等学校1年	洪田 菜那さん
広島県立神辺旭高等学校1年	堂山ななみさん
広島県立大門高等学校2年	玉木 凜さん
広島県立安西高等学校1年	藤岡 麻優さん
広島県立松永高等学校3年	藤原 颯汰さん
広島県立福山明王台高等学校3年	佐藤 妃菜さん
広島県立安芸南高等学校1年	實森 葵さん
広島県立広島井口高等学校2年	八塚 珠寿さん
広島県立賀茂高等学校1年	出島 楓菜さん
広島県立広島高等学校1年	山下 柚奈さん
広島市立沼田高等学校2年	岡本のりなさん
崇徳高等学校2年	安原 佑さん
広島修道大学ひろしま協創高等学校2年	木戸 愛さん
尾道高等学校2年	津山 陽春さん
安田女子高等学校2年	磯部 美佐さん

参加校一覧

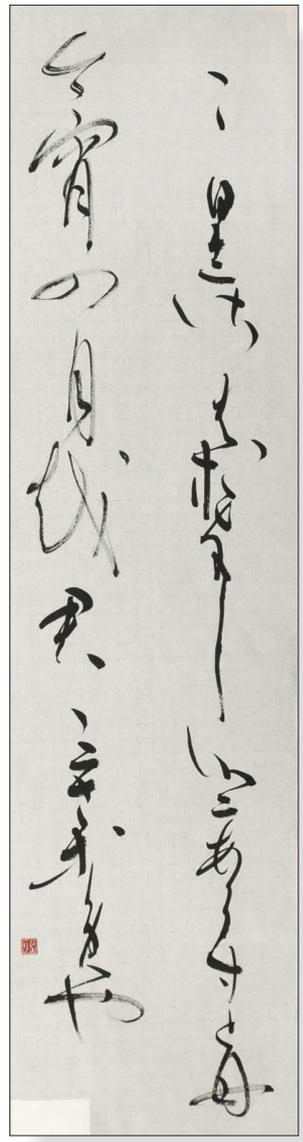
星槎学園高等部湘南校	神奈川	広島県立福山葦陽高等学校
城南静岡高等学校	静岡	広島県立五日市高等学校
滋賀県立八幡高等学校	滋賀	広島県立海田高等学校
滋賀県立彦根東高等学校	滋賀	広島県立廿日市高等学校
滋賀県立石山高等学校	滋賀	広島県立広島国泰寺高等学校
大阪府立夕陽丘高等学校	大阪	広島県立西条農業高等学校
岡山県立倉敷商業高等学校	岡山	広島県立廿日市西高等学校
岡山県立笠岡高等学校	岡山	広島県立広島井口高等学校
岡山県立林野高等学校	岡山	広島県立吉田高等学校
岡山県立倉敷天城高等学校	岡山	広島県立呉三津田高等学校
岡山県立津山東高等学校	岡山	広島県立祇園北高等学校
金光学園高等学校	岡山	広島県立広島商業高等学校
明誠学院高等学校	岡山	広島県立神辺旭高等学校
鳥取県立鳥取東高等学校	鳥取	広島県立大門高等学校
山口県立下関西高等学校	山口	広島県立三次高等学校
山口県立岩国総合高等学校	山口	広島県立三原特別支援学校 高等部
愛媛県立伊予高等学校	愛媛	広島県立安西高等学校
高知県立高知小津高等学校	高知	広島県立可部高等学校
福岡県立明善高等学校	福岡	広島県立松永高等学校
福岡県立太宰府高等学校	福岡	広島県立福山明王台高等学校
福岡大学附属大濠高等学校	福岡	広島県立安芸南高等学校
佐賀県立佐賀北高等学校	佐賀	広島県立神辺高等学校
佐賀清和高等学校	佐賀	広島県立賀茂高等学校
熊本県立第一高等学校	熊本	広島県立広島高等学校
熊本市立必由館高等学校	熊本	広島市立広島みらい創生高等学校
大分高等学校	大分	広島市立沼田高等学校
宮崎県立日向高等学校	宮崎	山陽女学園高等部
沖縄県立那覇国際高等学校	沖縄	崇徳高等学校
広島大学附属高等学校	広島	広島修道大学ひろしま協創高等学校
広島県立安古市高等学校	広島	銀河学院高等学校
広島県立因島高等学校	広島	尾道高等学校
広島県立広島皆実高等学校	広島	安田女子高等学校
広島県立熊野高等学校	広島	応募校数 67校
広島県立府中東高等学校	広島	応募者数 581名
広島県立府中高等学校	広島	

グランプリ
— 創作の部 —

大分高等学校3年 大庭 由暉さん



岡山県立倉敷商業高等学校2年 和田ひよりさん

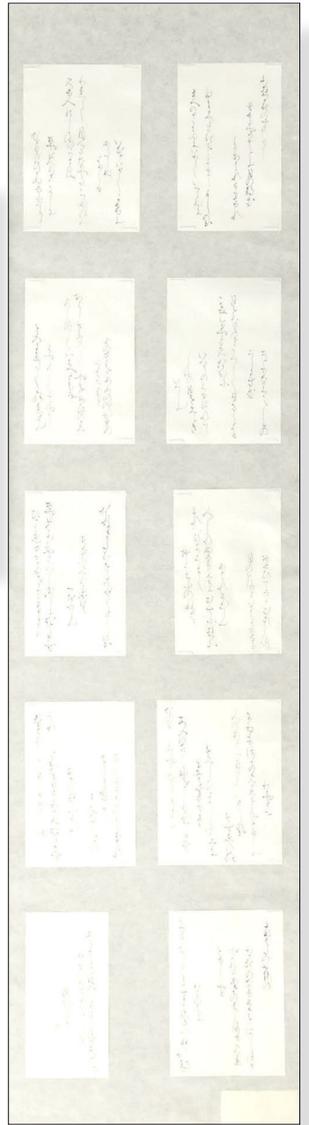


佐賀県立佐賀北高等学校2年 吉本 一葉さん

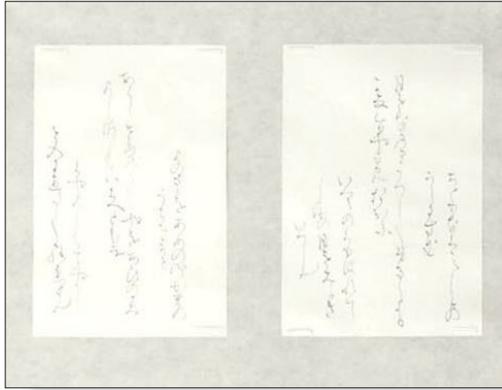
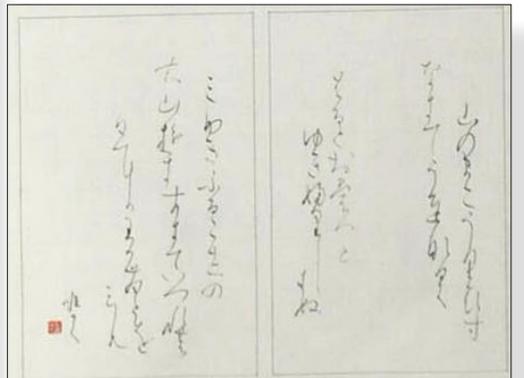


熊本市立必由館高等学校3年 北村 詩さん

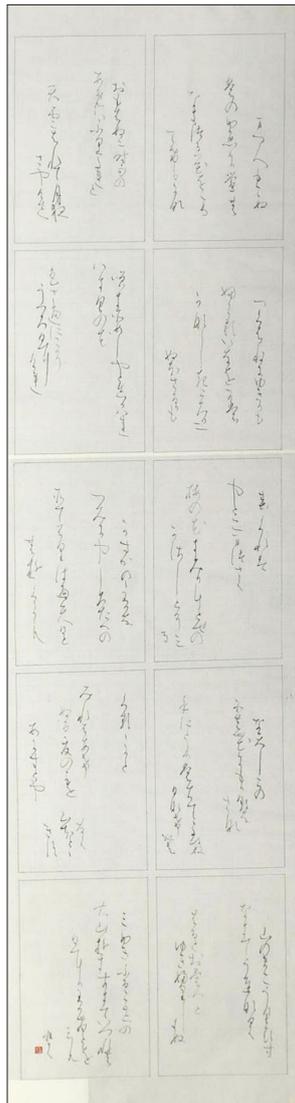




岡山県立倉敷商業高等学校2年 岡部 唯さん



大分高等学校3年 原 彩花さん



魚田開雙林我遊不厭屢柳界護生堤盡際網罟懼登橋展四牆
 惟有舟是路羣山遠直南如讓水回互同行興弥深菜蕨待秋素北
 驥溪僧言孤策漁寒兔山中甘茹物新月在茅橋主人肯為客遂
 為信宿淹在久去氣和露下衣微露步踏梅影畫格參濃纖情
 然諸筆靜不覺更漏添歸舟一枕夢逐家指青帘 彩花書

佐賀県立佐賀北高等学校2年 中島 佳音さん

強欲登高去無人送酒来遥
憐故園菊应傍战场开

岑参诗行军九日思长

中島園 佳音書



熊本市立必由館高等学校2年 今福 莉緒さん

徒獨心淡聖空波兩映明林閣揚子
驛山之潤洲城海盡遠音轉江寒朔
吹生更聞楓葉下秋澹度秋聲

今福 莉緒書

熊本市立必由館高等学校3年 田中 沙莉奈さん

月落烏啼霜滿天江楓漁
火對愁眼始蘇城外有暮山
寺夜半鐘聲到客船

田中 沙莉奈書

グランプリ — 臨書の部 —

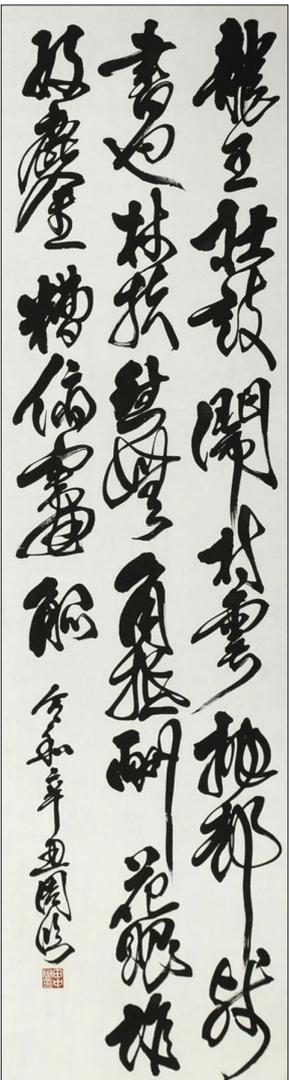
佐賀県立佐賀北高等学校2年 角田 菜緒さん



佐賀県立佐賀北高等学校2年 松雪 萌さん



佐賀県立佐賀北高等学校3年 田中 周さん



得	得	風	鳳	衣	水	水	天	天
孤	能	在	在	裳	玉	地	地	地
孝	莫	樹	樹	推	出	玄	玄	玄
三	忘	白	白	位	崑	黃	黃	黃
四	回	駒	駒	讓	崗	宇	宇	宇
侯	談	食	食	國	初	宙	宙	宙
俊	彼	場	場	有	稀	洪	洪	洪
飛	短	化	化	幸	巨	荒	荒	荒
情	廉	被	被	陶	關	日	日	日
止	持	草	草	唐	珠	月	月	月
長	已	木	木	吊	稱	丹	丹	丹
信	長	類	類	布	夜	吳	吳	吳
使	信	及	及	戎	光	辰	辰	辰
可	使	萬	萬	罪	葉	宿	宿	宿
虞	可	方	方	周	葉	列	列	列
六	虞	蓋	蓋	發	葉	張	張	張
六	欲	身	身	殿	葉	寒	寒	寒
難	難	髮	髮	湯	葉	來	來	來
量	量	四	四	坐	葉	暑	暑	暑
悲	悲	大	大	朝	葉	注	注	注
心	心	五	五	問	葉	秋	秋	秋
絲	絲	常	常	道	葉	收	收	收
派	派	恭	恭	垂	葉	冬	冬	冬
漢	漢	惟	惟	拱	葉	歲	歲	歲
羊	羊	養	養	平	葉	閏	閏	閏
景	景	豈	豈	章	葉	餘	餘	餘
行	行	敢	敢	愛	葉	成	成	成
維	維	依	依	育	葉	歲	歲	歲
賢	賢	如	如	黎	葉	律	律	律
念	念	葉	葉	首	葉	台	台	台
他	他	負	負	臣	葉	調	調	調
聖	聖	男	男	伏	葉	陽	陽	陽
德	德	友	友	戎	葉	雲	雲	雲
建	建	友	友	荒	葉	騰	騰	騰
		才	才	退	葉	致	致	致
		良	良	迹	葉	雨	雨	雨
		過	過	壺	葉	露	露	露
		必	必	體	葉	結	結	結
		敗	敗	率	葉	為	為	為
				實	葉	霜	霜	霜
				歸	葉	金	金	金
				王	葉	生	生	生
				鳴	葉	麗	麗	麗

粟流

Handwritten Japanese calligraphy in vertical columns, consisting of approximately 10 sheets of paper.

Handwritten Japanese calligraphy in vertical columns, consisting of two sheets of paper.

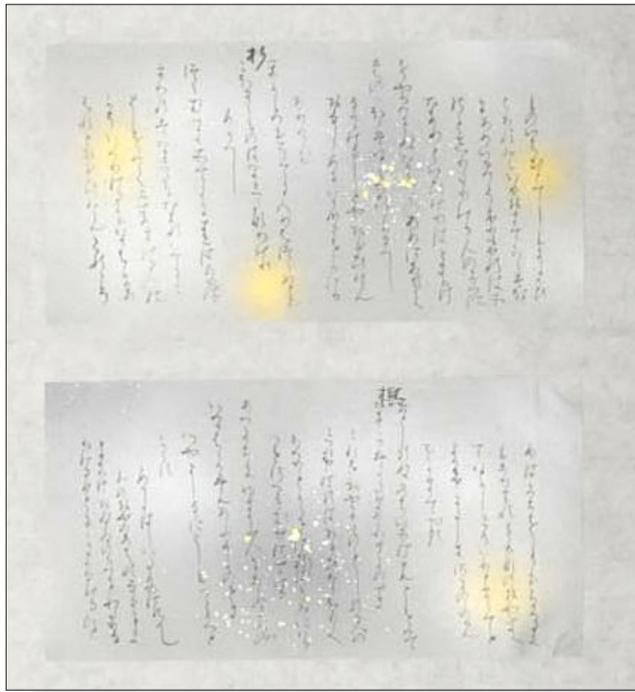
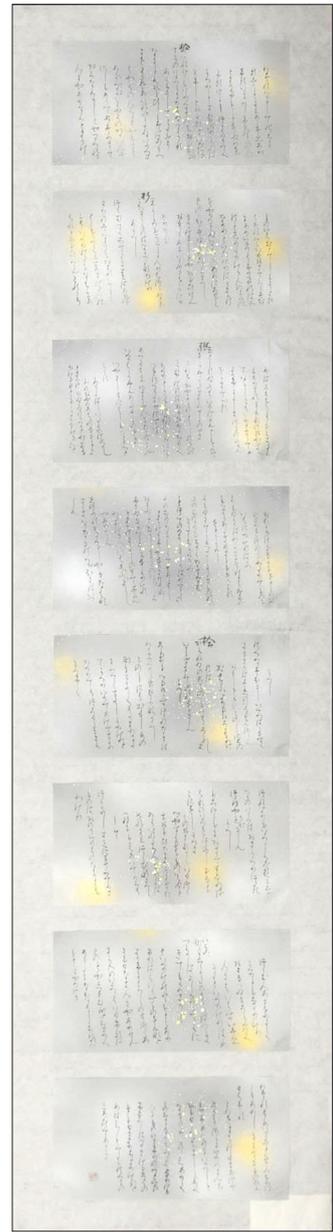
收功勤誨重蒙顧
用祛其蔽州郡聞
徒琢入舉有道皆
以疾解身五月日
龍原山

福岡県立大宰府高等学校2年 竹内 咲愛さん

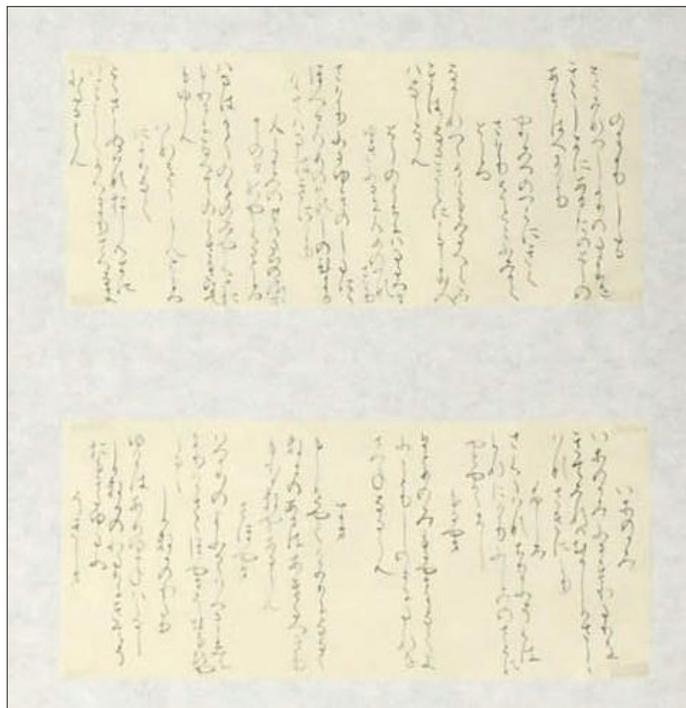
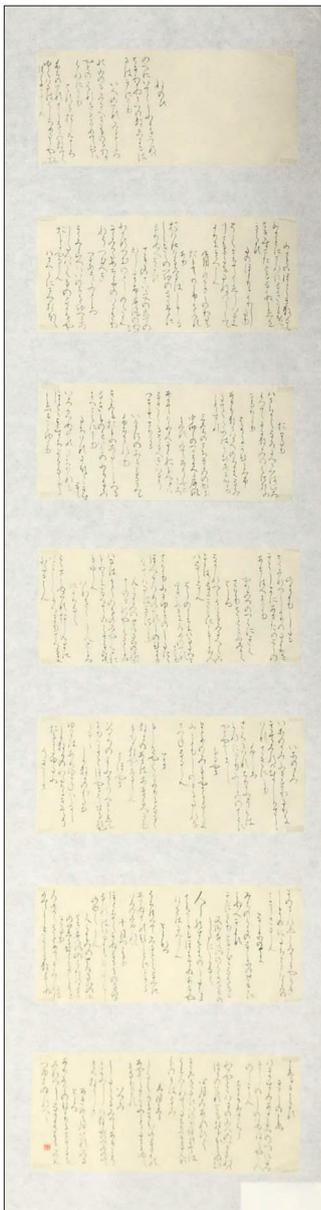
斷止纏止攀
悲我嗣除跡
是里狷城直
咎樂杜
棧其檟欄
重鳴亞筭
其季象
辰序齔
盤盤言
對音
咲愛
修

熊本市立必由館高等学校3年 織田 智桃さん

細望翠微入
出香塵跡掃
重漫可也
相繼皆發
清機人法
聽於古
層間洗菜
歸 莫寬
雲景外
漢一驅飛
智桃
山



明誠学院高等学校1年 山本 深鈴さん



準グランプリ | 創作の部

熊本市立必由館高等学校3年 園田 捺実さん

夜郎州月國中只獨看遙情
不解 悠長本去霧中
臂成沙時倚 處恍如
徐実土

熊本市立必由館高等学校3年 福田 紗也さん

風助角鳥鳴 將軍
飲疾安遠馬蹄 運
初柳 營也者打鷓 處
徐也

熊本市立必由館高等学校3年 松本 久未さん

不知春積寺 聲
徑深山何處鐘 聲
青松鶴 空海 由世
久未

熊本市立必由館高等学校3年 吉田 愛那日さん

秋來何處最銷魂
殘照西風白下門 他
聽曲夢遠江南島 夜
愛那日

熊本市立必由館高等学校3年 柳原 蘭さん

桂楫中流望空波 兩
驛山出潤州城 海
吹生更聞楓葉下 浙
蘭書

岡山県立倉敷商業高等学校2年 岡野 仁胡さん

心
仁胡

大分高等学校2年 牧 絵里加さん

洞庭詩人葛震父 畫
想他標 鈔峯頭坐 快
偶來鶴立碧溪頭 石
雲雲濃翠壁丹崖 錦
絵里加

福岡県立太宰府高等学校2年 江崎 果音さん

又坐不厭湖上月 畫
長滿心中 萬事閑
數什應不 惜即相
何益菜莫 濟頭歸
若此人 不醉參差
果音

熊本市立必由館高等学校2年 竹崎 琴美さん

木落鴈南渡北風
江上寒我家裏水曲邊隔楚雲端
掛淚客中盡
孤帆天際看迷津欲有問平海夕漢
琴美書

大分高等学校1年 高橋 怜花さん

月夜のこころ
こころのこころ
こころのこころ
こころのこころ
こころのこころ

広島県立五日市高等学校2年 山田 龍さん

永和九年歲在癸丑暮春之初會于會稽
山陰之蘭亭脩楔事也群賢畢至少長咸
集此地有崇山峻嶺茂林脩竹又有清流
激湍映帶左右引以為流觴曲水列坐其
次雖無絲竹管弦之盛
蘭亭序 龍

佐賀県立佐賀北高等学校3年 池田 愛海さん

海上雨風心孤鶴會人
雨積更思梅香
愛海書

明誠学院高等学校3年 飯塚 美月さん

夢の向かひは前進
上を向いてまはる一歩を踏み続け
美月

佐賀県立佐賀北高等学校2年 田中 飛宏さん

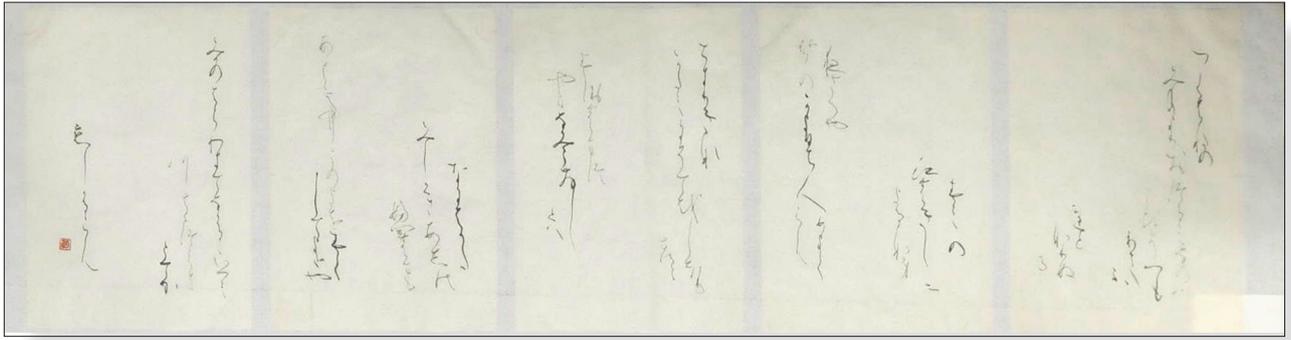
雁開數雁景貼地
鴈冷燭鵲聲寒而
才悵探訪句雲開鼓雁景貼地
冷燭鵲聲寒而天飛宏

熊本市立必由館高等学校2年 北平 千智さん

夢裏紅奔山簾外
或鑷桑雨登屯
千智

大分高等学校3年 楳木 心さん

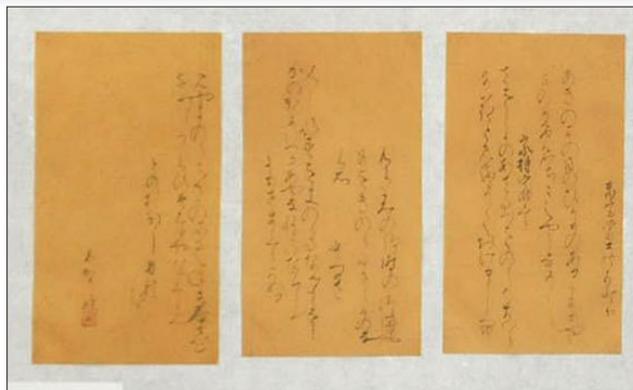
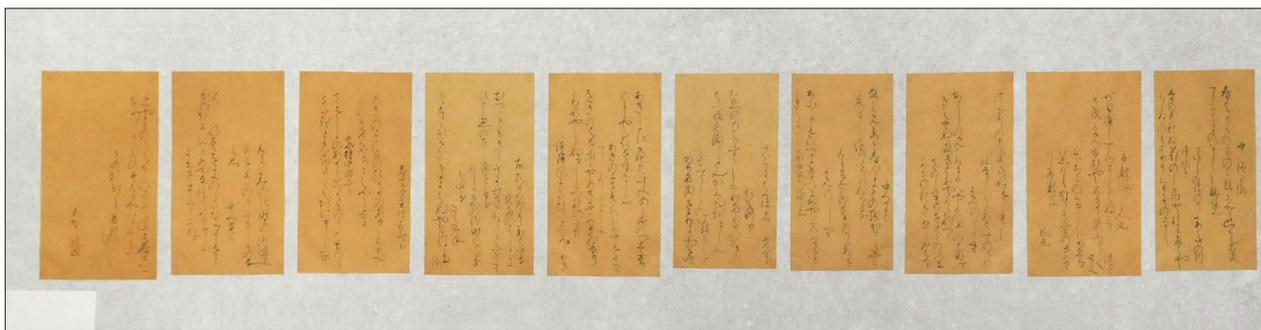
萬頃春聲捲浪花孤舟晚泊天之涯
岳陽道人無箇事洞庭水試君山茶
昔岸真似管弦嬌三月綠玉腕拋却紅塵多
少年零落關山通宵春潮未泊
宜川 蓮花雙陸波驚不知局勢棋盤外
春舟吻外雨如絲 心書



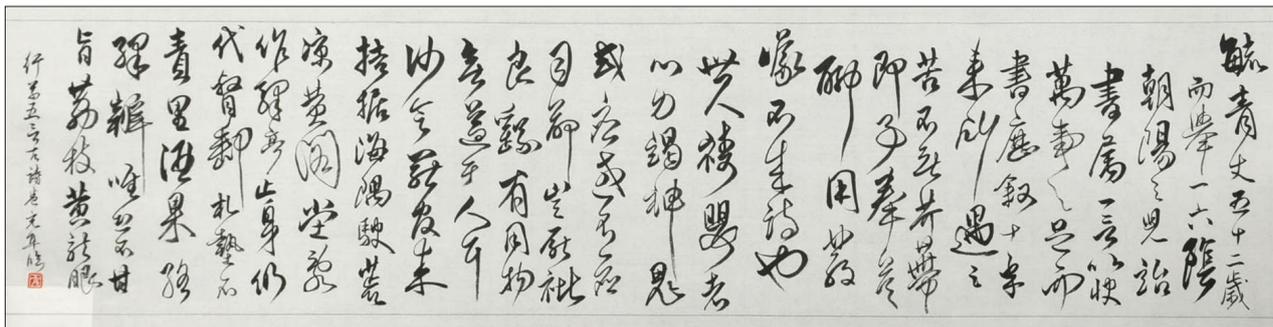
不識南塘路今知第五橋名園依係水野竹上青霄谷口蒼相得深梁日見招年全為此
 與半惜馬蹄遙感暮陰陽催短景天涯霜雪霽寒宵三更鼓角聲悲壯三峽星河動
 強野尖千家開戰伐表歌幾處起漁樵臥龍躍馬終黃土人事奇書漫寂寥復作歸田
 去猶殘獲稻功築場憐六蟻拾穗許邱童落枿光輝白除苦不粒仁加餐可扶老常原
 慰飄蓬花飛有底急老去願春遲可惜歡娛地都非少時寬心應是酒造 菜月 丑



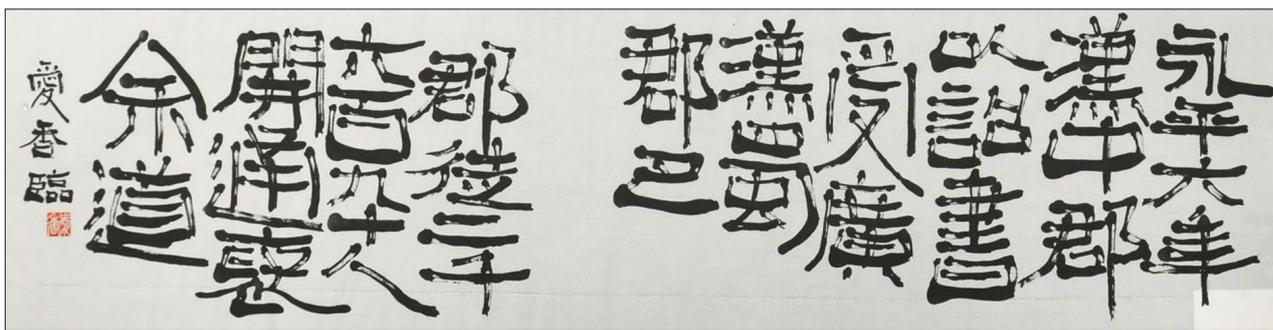
岡山県立倉敷商業高等学校3年 松原 朱莉さん



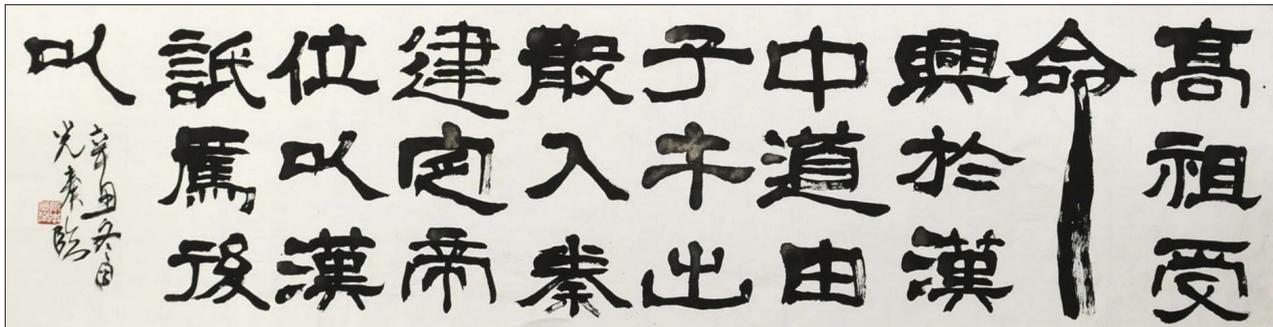
岡山県立倉敷天城高等学校1年 小出 充隼さん



広島県立府中高等学校1年 向井 愛香さん



佐賀県立佐賀北高等学校2年 坂本 光奏さん

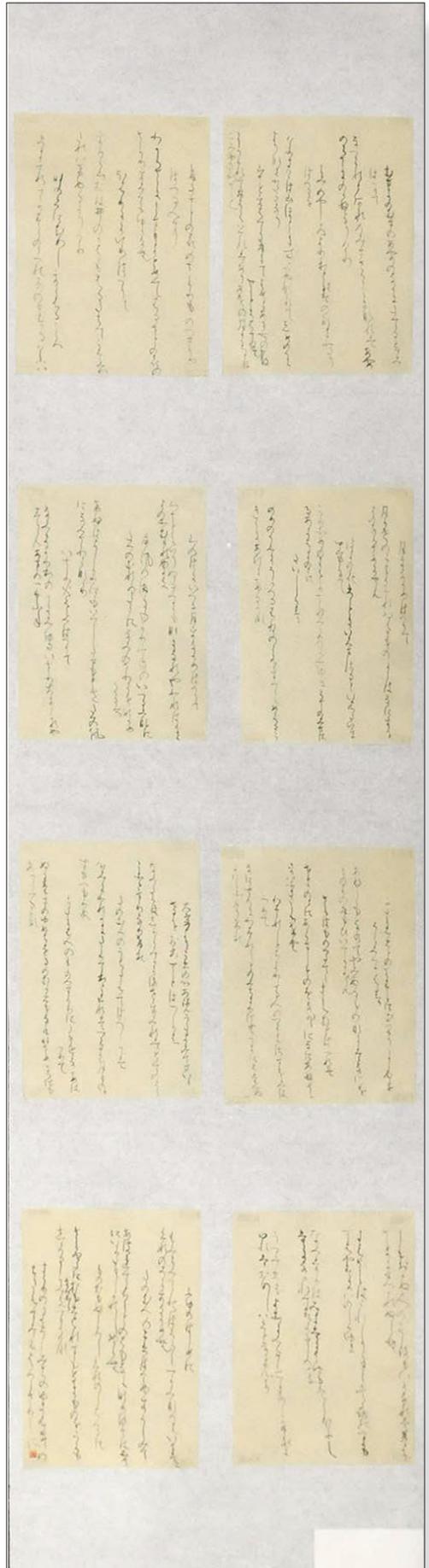


大唐三藏聖教序太宗文皇帝製蓋聞二儀有象顯覆載以含生四時無形潛寒暑以化物是以
窺天鑿地庸愚皆識其端明陰洞陽賢哲罕窮其數然而天地苞乎陰陽而易識者以其有象也
陰陽變乎天地而難窮者以其無形也故知象顯可徵雖愚不惑形潛莫覩在智猶迷況乎佛道
崇虛乘幽控辯弘濟萬品典御十方舉威靈而無上抑神力而無下大之則弥於宇宙細之則攝
於豪釐無滅無生歷千劫而不古若隱若顯運百福而長今妙道凝玄遵之莫知其際法流湛寂
挹之莫測其源故知蠢蠢凡愚區區庸鄙投其旨趣能無疑惑者哉然則大教之興基乎西土騰
漢庭而皎夢照東域而流慈昔者分形分蹟之時言未馳而成化當常現常之世人仰德而知遵
及乎晦影歸真還儀越世金容掩色不鏡三千之光麗象開圖空端四八之相

有莉咲臨

窮泰極侈以人從欲良足深尤至於炎景流金無鬱蒸之氣微	風徐動有淒清之涼信安體之佳所誠養神之勝地漢之甘泉	不能尚也皇帝爰在弱冠經營四方遙乎立年撫臨億兆始以	武功壹海內終以文德懷遠人東越青丘南踰丹徼皆獻琛奉	贊重譯來王西暨輪臺北拒玄關並地列州縣人充編戶氣泝	年和近安遠肅群生成遂靈貺畢臻雖藉二儀之功
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	----------------------

鈴佳臨



佐賀県立佐賀北高等学校3年 八頭司 美奈さん



佐賀県立佐賀北高等学校3年 野本 沙耶さん

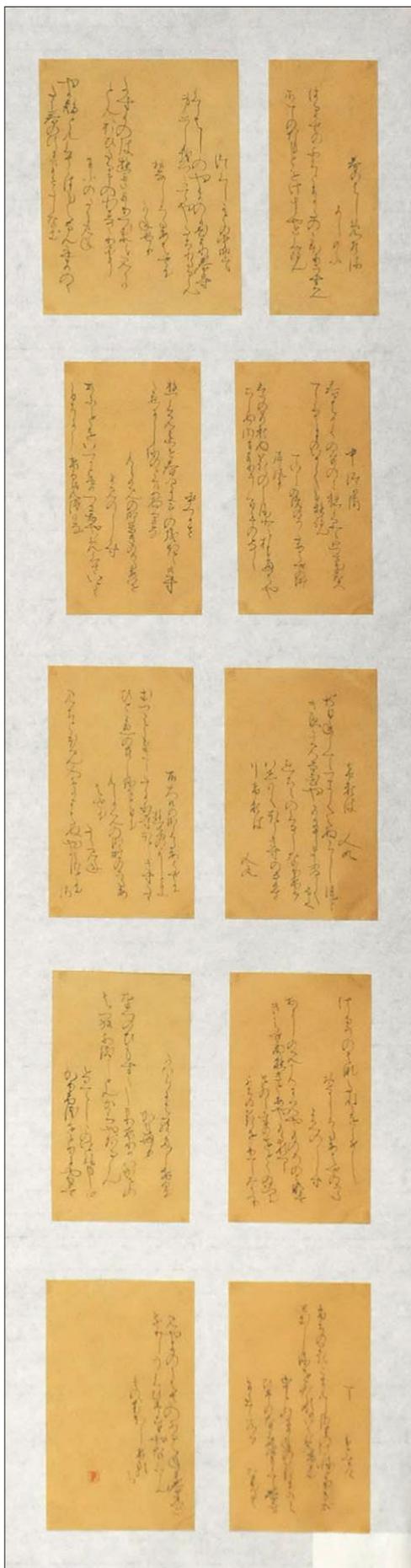


広島県立大門高等学校2年 堀 美優さん



明誠学院高等学校1年 森元 陽莉さん





大分高等学校2年 宮崎 舞翔さん

世人以樂毅不特按宮即墨為劣是以叙而論之夫求古賢之意宜以大者達者先之必迂迴而難通然後已焉可也今樂氏之趣或者其未盡乎而多劣之是使前賢失指於將來不亦惜哉觀樂生遺燕惠王書 舞翔 啓

高知県立高知小津高等学校3年 萩野 真夕さん

猶半擁捨於分段之鄉騰遊无礙之境若存託生於天上諸佛之所若生世界妙樂自在之處若有苦累即今解脫 真夕 臨

広島市立沼田高等学校3年 上田 梨央さん

雲借汝雨露結為霜金生飛水
玉出岫窗細錦之輕珠綺妝光
兼咏李素朱重芬蓋海 梨央 啓

支 潤一さん(中国)

單車欲問邊屬國
居延証蓮山漢塞歸
雁人胡而大漠孤煙
直長河落日圓蕭關
輝候騎斷護在燕然
王維使至塞上 辛丑秋支潤一士於糸蘇

特別賞

まほろば賞

滋賀県立石山高等学校2年 过川 美空さん

越女争美足及地物妬弄之媚轻首足并社
 事奇素贞去矣歌咏刃钻之凌如许史书经色
 高山色四野名金有侍者乃卷生都玉 美空 作

大阪府立夕陽丘高等学校2年 西川 凜さん

言尊者獨行无沙弥耶舍
 利弗言我无沙弥闻卿有
 子當用見與婆羅門
 凜 作

鳥取県立鳥取東高等学校1年 山本 志歩さん

左傳非邱明所作也
 唐宋已來論之鍾
 志歩 作

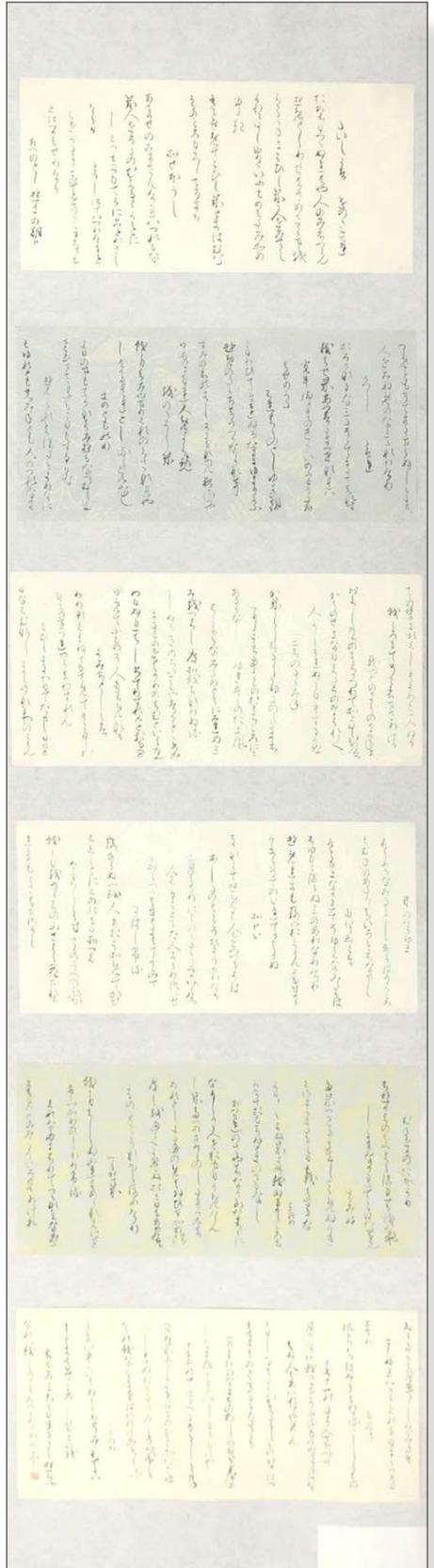
岡山県立倉敷商業高等学校2年 川端 郁子さん

青松勁挺姿凌霄 耻屈盤種々
 出枝葉牽連上松端 秋花起絳
 烟旖旎雲錦殷 不羞不自立
 千優 作

天地玄黄宇宙洪荒日月盈昃宿列張寒未暑注秋收冬藏閏餘成歲律名調陽雲騰致雨露結為霜金生麗水玉出崑
 崑崙彌臣關珠稱夜光菓珍李奈菜重茶蘆海鹹河淡鱗潛羽翔龍師火帝鳥官人皇始制文字乃服衣裳推位讓國有虞
 陶翊神靈程珠稱夜光菓珍李奈菜重茶蘆海鹹河淡鱗潛羽翔龍師火帝鳥官人皇始制文字乃服衣裳推位讓國有虞
 陶唐吊民伐罪周發殷湯坐朝問道垂拱平章愛育黎首臣伏戎先遜迹壹體率賓歸王鳴鳳在樹白駒食場化被草木賴
 及萬方蓋此身矮四大五常恭惟鞠養豈敢毀傷女慕貞絜男效才良知過必改得能莫忘回談彼短靡恃已長信使可寶
 器欲難量墨悲絲許讚羔羊景行維賢勉念作聖德建名立形端表正空谷傳聲虛堂習聽福因惡積福緣善慶
 共為難量墨悲絲許讚羔羊景行維賢勉念作聖德建名立形端表正空谷傳聲虛堂習聽福因惡積福緣善慶

岡山県立倉敷商業高等学校2年 川端 郁子さん

明誠学院高等学校 1年 廣田 梅太郎さん



岡山県立津山東高等学校 1年 谷 希乃香さん

料 一 才 其
勿 止 其 本 其 鼓
希乃香

山口県立岩国総合高等学校 1年 貞益 桃柚さん

九 為 省 官 荐 為 節 度 採
訪 觀 察 使 魯 郡 公
杏柚臨

岡山県立笠岡高等学校 3年 岡崎 真弥さん

夕 人 隔 天 風 海 水 吹 不 立 柳 乃 身 在 濁
心 志 赴 宇 及 時 香 芝 蘭 生 眩 翠
不 殊 亦 孤 風 怪 芝 蘭 乃 大 使 真弥

愛媛県立伊予高等学校 2年 上村 佳穂さん

高 齋 龍 興 有 張 良
善 用 蕭 蕭 在 帷 幕

高知県立高知小津高等学校1年 高橋 瑞奈さん

三途思道永絶因趣
一切衆生成蒙斯福

瑞奈 謹

福岡県立大宰府高等学校2年 久原 美琴さん

侈教傷之殘示四國之人

是縱暴易亂貪以成私鄰國望之其猶豺虎既大隨稱兵之義而喪濟弱之仁齊齊之前
激厥善之風掩密通之度棄王德之隆雖二城孰於可拔霸王之事逝其速矣然則燕雖兼
齊其與世主何以殊哉其與鄰國何以相傾樂生豈不知按二城之速了哉 美琴 謹

佐賀清和高等学校3年 伊藤 玲那さん

誘道文字澹然絕孝廉心
西露寒如此乾坤喘不任
諱瀛壑文海頃壽裝

玲那 謹

佐賀県立佐賀北高等学校2年 牧瀬 こよみさん

使持節司空公長樂
王丘穆陵亮夫

湖舟 謹

熊本県立第一高等学校2年 本里 心さん

始平公像一區

夫靈蹤哉則攀宗靡尋容像不陳則崇之
必是以真顏於上齡遺形敷于下業暨于
大代茲幼廉作比丘慧成自以影濯玄流
邀逢昌運率渴誠心為國造石窟寺系答
皇恩有資來崇 始平公造像記 辛丑晚秋 心 謹

熊本市立心由館高等学校2年 漆野 愛さん

答策高第擢補中

書博士弥以方正自居雖才望稱官
而乃薦載不遷任清務簡遂 愛 謹

大分高等学校1年 河野 風紗さん

始平公像一區

夫靈蹤弗或則攀宗
靡尋容像不陳則崇
之必是以真顏 風紗 謹

沖縄県立那覇国際高等学校2年 湧川 ひなさん

為流觴曲水列坐其次
雖無絲竹管絃之

日示 謹

広島大学附属高等学校2年 溝田 若葉さん

遂乃體謝塵端孔昇物表慈
身軀沈俱土愛河慧柯一飛便
超答海空有二縁

若葉 臨

広島県立安古市高等学校3年 藤田 桃菜さん

關兜率翅頸之益敢
輒罄家財造石

桃菜 臨

広島県立福山葦陽高等学校1年 廣津 菜花さん

勅國儲為天下之本師導元良之教將以本固必由教先非求忠賢何以審論光祿
大夫行吏部尚書充禮儀使上柱國魯郡開國公顏真卿立德踐行當四科之首懿文
碩學為百氏之宗忠讜罄于臣節貞規存乎士範述職中外服勞社稷靜專由其直方
動用謂之懸解山公啓事清彼品流村孫制禮光我王度惟是一有實貞萬國力乃稽
古則思其人况太后崇徽外家聯屬願先勲舊方睦親賢俾其調護以全羽翼一王之
制咨尔鯁之可太子少師依前充禮儀使散官勲封如故建中元年八月廿五日奉勅
如右册到奉行建中元年八月廿六日告光祿大夫太子少師充禮儀使上柱國魯郡
開國公顏真卿奉勅如右符到奉行建中元年八月廿八日下

顏真卿自書告身 菜花臨

広島県立広島皆実高等学校1年 原田 永さん

日光玉潔千峯立

永 書

広島県立熊野高等学校2年 小鳥田 有紗さん

而即甚省中月弦
能方月度壽

有紗 臨

広島県立府中高等学校2年 諏澤 美結さん

存時時記今
時集

美結 臨

邀蓬昌運率渴誠心
為國造石窟寺

桜臨

篤信樂道據德依仁
孝弟端雅寘言愍行

媛月臨

風以雲書自天翔以披之
関之如揭雲霧甚惠止欽妙
門頂戴供養心之

麻衣子臨

高帝龍興有張良善用蕭蕭在
帷幕出内决勝負千里出外析
珪於留文景出間有張

望明臨

西河有枯桑之社北陸以揚菜為
關南陵以梅根作治小山則藜桂
留人扶風則長松繫馬

璃子臨

永和九年歲在癸丑暮春之
初會于會稽山陰之蘭亭
脩禊事也羣賢畢

菜那臨

上柱國魯郡開國公
顏真卿立德踐

凜臨

頰真卿立德踐

広島県立安西高等学校1年 藤岡 麻優さん

青松勁挺姿凌霄
耻屈豎種出枝葉

広島県立松永高等学校3年 藤原 颯汰さん

請行無常

広島県立福山明王台高等学校3年 佐藤 妃菜さん

絢運翠微入幽香塵跡稀
巴相響谷鼓清機人淡聽
間洗菜歸其窺雲景外

広島県立安芸南高等学校1年 實森 葵さん

中興是頼晉大夫張
先春秋嘉其聲

広島県立広島井口高等学校2年 八塚 珠寿さん

上柱國魯郡開國公
忠讜罄于臣節貞規存乎
士範述職中外

広島県立賀茂高等学校1年 出島 楓菜さん

祖温道協儲端燕太子瞻事父擘
仁結義徒績著寧邊拜連威將軍
汝陰太守綿榮千載聯光

広島県立広高等学校1年 山下 柚奈さん

魯郡開國公顏真
卿立德踐行

広島市立沼田高等学校2年 岡本 のりなさん

君諱全字景完敦煌效穀人也
其先蓋周之胄武王秉乾之機
崩伐段商既定爾勲福祿

珠輪蠱且駕

広島修道大学ひろしま協創高等学校2年 木戸 愛さん

維貞觀六年孟夏之月皇
帝避暑乎九成之宮此則

尾道高等学校2年 津山 陽春さん

大唐三藏聖教序太宗文皇帝製蓋聞二儀有象顯覆載以含生四時無形潛寒暑
以化物是以窺天鑿地庸愚皆識其端明陰洞陽賢振罕窮其數然而天地苞乎陰
陽而易識者以其有象也陰陽象乎天地而難窮者以其無形也故知象顯可徵雖
愚不惑形潛莫親在智猶迷況乎佛道崇虛乘幽控締弘濟萬品典御十方舉威靈
而無上抑神力而無下大之則弥於宇宙細之則攝於豪釐無滅無生庶千劫而不
古善隱若顯運百福而長令妙道超玄遵之莫知其際法流湛寂提之莫測其源故
知蠱蠱凡愚區區庸鄙按其旨趣能無感者然則大教之興基乎西土騰漢庭
而皎夢照東域而流慈昔者分形分蹟之時言未馳而成化 陽春臨

安田女子高等学校2年 磯部 美佐さん

婆羅門見佛受已心情歡
喜倍加踊躍佛哀此 美佐臨

審査講評

昨年度に続き、今年度も、感染症予防の点から席書形式での開催をとりやめ、本学主催第7回インターネット国際書道展「グローバル書道@YASUDA」の「毛筆の部：高等学校相当」を、S-1グランプリとして開催しました。

全国から、600点に迫る応募がありました。本学書道教員5名が審査にあたり、団体・個人の各賞を決定しました。今回も力作が多く見られ、コロナ禍にあっても、書道へのひたむきな情熱が作品から伝わってききました。

一次審査では審査員5名の持ち点をもとに「団体賞」を決定しました。上位校のレベルは高く、ほんの僅かの差しかありませんでした。続く二次審査では、獲得点数順に「個人賞」を決めました。同時に詩文の切れ目や誤字のチェックも入念に行いました。従来に比して誤字の割合は減ったものの、読むのに躊躇する文字が散見され、こうした作品は上位から除外することとなりました。

今回の特徴として、創作の部の出品数が大幅に増えたことがあげられます。前回までは入賞数を調整していましたが、今回初めて規定の入賞数を決定しました。また、5名以上の団体を「団体賞」の対象とし、各団体から「まほろば賞」1点を選びました。

なお、海外からの出品については、規定が異なるため、優秀な作品を「特別賞」としました。また、グランプリ（個人）を受賞された作品及び特別賞の一部は、第53回卒業制作展（広島県立美術館）にて併催展示します。

第16回全国高校生（書道）S-1グランプリ作品集
二〇二二年二月一日発行
編集・発行 安田女子大学文学部書道学科
千七三〇一五三
広島市安佐南区安東六一三一一
〇八二一七八七二五

第7回インターネット国際書道展 [グローバル書道@YASUDA]
毛筆の部高等学校相当を第16回全国高校生く書道> S-1グランプリとして開催
グランプリ（個人）を受賞された作品及び特別賞を
第53回卒業制作展（広島県立美術館）にて併催展示
展示期間：2022年2月22～27日